

平成 2 6 年度

熊本県学力調査 「ゆうチャレンジ」

中学校 第 2 学年 国語

- 問題は [1] ～ [4] で、10 ページまであります。
- [1] は、放送による問題です。放送が終わるまで、問題を開いてはいけません。
- 解答用紙は、中にはさんであります。取り出して使用しないで。

年 組 号	
名 前	

熊本県教育委員会

① 今聞き取ったことをもとに、次の問いに答えなさい。

(1) 田中さんのインタビューの中での工夫として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 鈴木さんの話の内容と自分の考えを比較し、自分の立場を明確にして話そうとしている。
- イ 鈴木さんの話の内容と自分の考えとの共通点や相違点を整理しながら、話を進めようとしている。
- ウ 鈴木さんの話の内容に対する疑問点を示したうえで、新たな考えを引き出そうとしている。
- エ 鈴木さんの話の内容に対して自分の考えや経験を入れながら、関心をもったことを質問している。

(2) 田中さんが鈴木さんにインタビューしようと思ったのは、職業講話でのどんな話に興味がわいたからですか。次の（ ）に当てはまる言葉を書きなさい。

（ ） こと の （ ） の 話 に 興 味 が わ い た か ら 。

(3) 田中さんは、インタビューしたことをもとに、総合的な学習の時間に発表するための発表メモを作っています。①に入る内容を十五字以内で書きなさい。

一、博物館の鈴木さんから「失敗が成功につながった例」の話を聞いたこと。

二、「付箋」が、「失敗」から誕生した様子について。

(1) 外国のある会社の社員が「新しい接着剤」の開発に取り組んだ。

・よく付くが簡単にはがれてしまう。・・・接着剤としては失敗。

(2) 他の社員が考えた。

・つけたりはがしたりできるところはおもしろい。

・

①

と考えた。

(3) 「糊のりのついたしおり」を思いつき、「付箋」を開発した。

(4) 田中さんは、総合的な学習の時間の発表の前に、同じ学級の金子さんから、発表メモに対してアドバイスをもらうことにしました。金子さんは、田中さんのメモを見て、博物館の鈴木さんの話の内容が紹介されているだけだと思いました。そこで、金子さんは、田中さんにアドバイスをします。どのようにアドバイスをすればいいでしょうか。次の【書き出し】に続けて、金子さんになったつもりで話すように書きなさい。

【書き出し】

「付箋」がどのようにしてできたかという鈴木さんの話は、よくわかります。
しかし、それだけでは、田中さんが何を伝えたいのが、わかりません。また、これからどうしたいのがわかりません。
だから、最後のまとめには、・・・・・・

2 次の問いに答えなさい。

(1) 次の文の――線の漢字の読みがなを書きなさい。また、――線のひらがなを漢字に直しなさい。

① 明日の準備を慌てて行く。 ② 音楽を聞いて気を紛らす。 ③ あの人は優雅に踊った。

④ 町の振興を願う。 ⑤ 二つの係を兼任する。

⑥ 勉強と運動にはげむ。 ⑦ 植物をさいばいする。 ⑧ 新年のほうふを述べる。

⑨ 人形を上手にあやつる。 ⑩ 校庭のそうじをする。

(2) 池田さんは、学校の玄関で、いつも朝から池田さんの家の近くで交通指導をしている地域の方に会いました。その方は、困っている様子でした。そこで、名前と用件を聞いてみることにしました。

次は、その時の会話です。

池田さん	こんにちは。何か、お困りですか。
地域の方	すみません。教頭先生にお会いしたいのですが、職員室はどちらですか。
池田さん	① いつも、朝から交通指導をしていらつしやる方ですね。私が、ご案内します。失礼ですが
地域の方	② 原町公民館の島田と言います。
池田さん	③ 。
地域の方	④ 。
池田さん	⑤ 。
池田さん	⑥ 。
池田さん	⑦ 。
池田さん	⑧ 。
池田さん	⑨ 。
池田さん	⑩ 。
池田さん	⑪ 。
池田さん	⑫ 。
池田さん	⑬ 。
池田さん	⑭ 。
池田さん	⑮ 。
池田さん	⑯ 。
池田さん	⑰ 。
池田さん	⑱ 。
池田さん	⑲ 。
池田さん	⑳ 。
池田さん	㉑ 。
池田さん	㉒ 。
池田さん	㉓ 。
池田さん	㉔ 。
池田さん	㉕ 。
池田さん	㉖ 。
池田さん	㉗ 。
池田さん	㉘ 。
池田さん	㉙ 。
池田さん	㉚ 。
池田さん	㉛ 。
池田さん	㉜ 。
池田さん	㉝ 。
池田さん	㉞ 。
池田さん	㉟ 。
池田さん	㊱ 。
池田さん	㊲ 。
池田さん	㊳ 。
池田さん	㊴ 。
池田さん	㊵ 。
池田さん	㊶ 。
池田さん	㊷ 。
池田さん	㊸ 。
池田さん	㊹ 。
池田さん	㊺ 。
池田さん	㊻ 。
池田さん	㊼ 。
池田さん	㊽ 。
池田さん	㊾ 。
池田さん	㊿ 。

○ 右のようなとき、池田さんはこの方にどのように尋ねればよいでしょうか。二人の会話の内容を参考にして
② に入る適切な言葉を書きなさい。
①

(3) 池田さんが読んでいた本に、「折にふれる」という言葉が出てきました。どういう意味だろうと、ある国語辞典で調べてみました。しかし、「折にふれる」では載っていませんでした。そこで、「ふれる」を調べました。

① 「折にふれる」という使い方では、「ふれる」の意味はどれに当たるでしょうか。次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

【「ふれる」の意味】

ア さわる。接触する。
イ 偶然出会ったものを感じとる。自然に耳や目に入る。
ウ ある機会・物事などに会う。
エ 行き当たって打撃を受ける。
オ 規則に違反する。さからう。反する。

② 「ふれる」の意味には、この他に「あることを話題にする」という意味がありました。この意味で使われる言い方として当てはまるものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 法律にふれる行動はしてはいけません。
イ その一言が兄の怒りにふれてしまいました。
ウ 散歩していたら、気持ちの良い光景が目につきました。
エ 指先が花の先端にふれました。
オ 過去のことにはふれないでおこう。

(4) 次は、新聞委員の北村さんが「卒業生を送る会」の様子を伝えた、生徒会新聞の記事の下書きの一部です。——線部を「在校生が」を主語にして、意味を変えないように書き換えることにしました。あとの□の中に入るふさわしい内容を書きなさい。

三月七日、きれいにかざった体育館で「卒業生を送る会」がありました。進行係の合図のあと、卒業生が、在校生の拍手に迎えられて、体育館に入場してきました。体育館いっぱいに響きわたるたくさんの拍手。九十二人の卒業生の表情はさまざま。(下書きが続く)

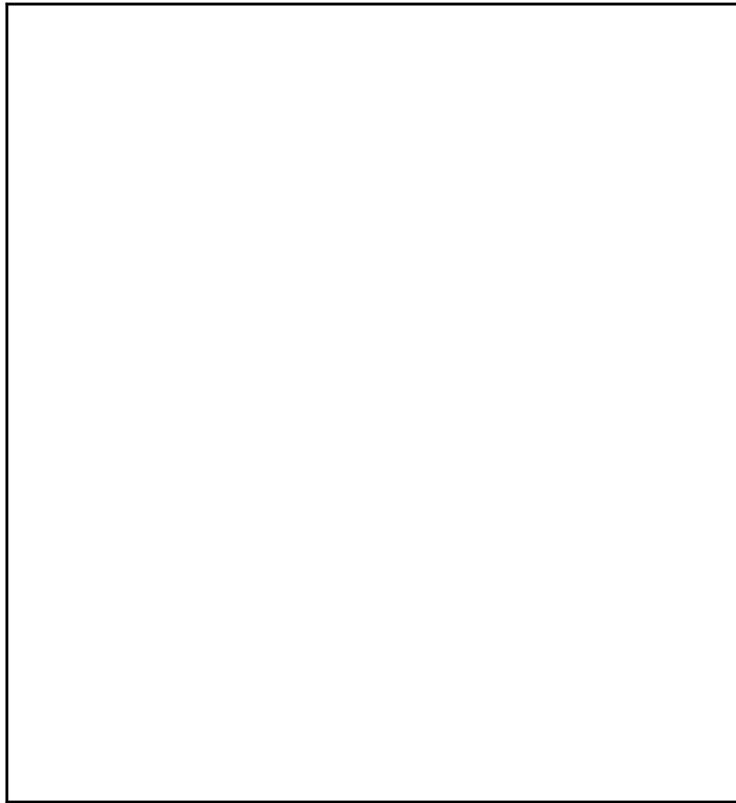
在校生が

拍手で迎えました。

3

山田さんの学級では、学習発表会で展示する詩の鑑賞文を書くために、好きな詩を選び、感想交流をし、読みを深め合います。山田さんは、自分と同じように「朝」をテーマにした詩を選んだ高橋さんと、詩から感じたことを、互いに交流しています。次に示しているのは二人が選んだ詩と、それぞれの初めの感想です。

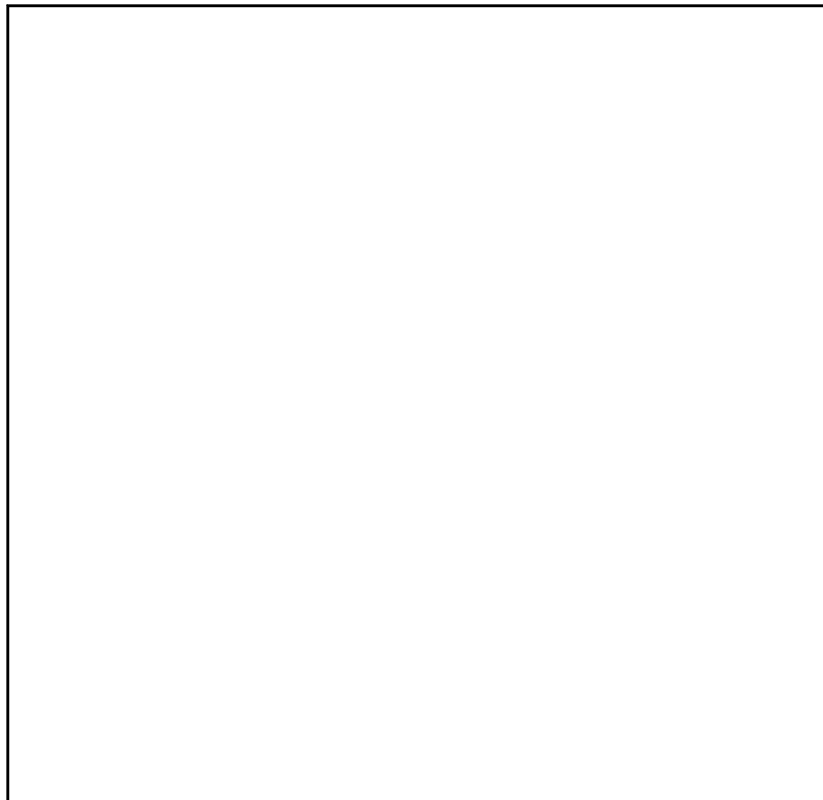
【山田さんが選んだ詩】



【山田さんの初めの感想】

私は、工藤直子さんの『まわる地球』の詩を選びました。この詩を読むと、何か力がわいてくるような感じがしました。特に、朝がきたときの空のよろこびの様子を

【高橋さんが選んだ詩】



【高橋さんの初めの感想】

私は、石津ちひろさんの『ありふれたあさ』の詩を選びました。この詩は初めに、あたりまえに繰り返し返されるおだやかな朝の様子が描かれています。ところが、

① 独特の表現であらわしているところが気に入りました。苦しいことやつらいことがあっても、朝になると元気がわいてくるような気持ちになると思いました。

② を読んだとき、「はっ。」とさせられました。ありふれた朝の訪れがなくなることがあると気付かされたからです。

- (1) 山田さんは、——線部①「独特の表現」と言っていますが、『まわる地球』では朝がきたときの空のよろこびの様子をどう表現していますか。詩の中の言葉から四字で抜き出さない。

- (2) 高橋さんの感想の ② に当てはまる言葉を詩の中から、十六字で抜き出さない。

○ 二人の意見の交流は、さらに続きます。

高橋さん	なるほど、『まわる地球』では、朝の空のよろこびを表現していますね。二つの詩は、同じように「朝」をテーマにしていますが、作者は違ったとらえかたをしていますね。山田さんが感想で言っているほかにも、直喩法を使って、朝の空のよろこびを表現しているところもあります。朝のエネルギーを感じさせる詩だと思います。
山田さん	ありがとうございます。私は、「くらくらするね!」というところからも、「命」や「生きるよろこび」を感じ、力がわいてくる詩だと思って選びました。ただし、『ありふれたあさ』と比べてみると、『まわる地球』についても、「地球のうつわの あるがまま」から、喜びの表現ばかりでなく、『ありふれたあさ』との共通点もあるように思えてきますが、どうでしょうか。
あなた	私は、二つの詩に描かれている作者の思いには ④ 共通点が（ ） ④ と思っています。その理由は、 ④ 。

- (3) ——線部③「直喩法^{ちういふ}を使って」とありますが、『まわる地球』の詩から、直喩法を使っている部分を抜き出さない。

- (4) 二人の意見を聞いて、あなたも話し合いに参加しています。 ④ の中に二つの詩から感じる作者の思いに共通点があると思うか、ないと思うか、そう思う理由もそえて書きなさい。

4

佐藤さんは「地域の一人暮らしのお年寄りの方へ年賀状を送る」という活動を委員会^{みんか}で提案しようと考えています。次は、ボランティア委員の佐藤さんが見かけた「書くよこび」という広報紙に載っていた小説家の湊^{みなと}かなえさんの文章の一部です。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

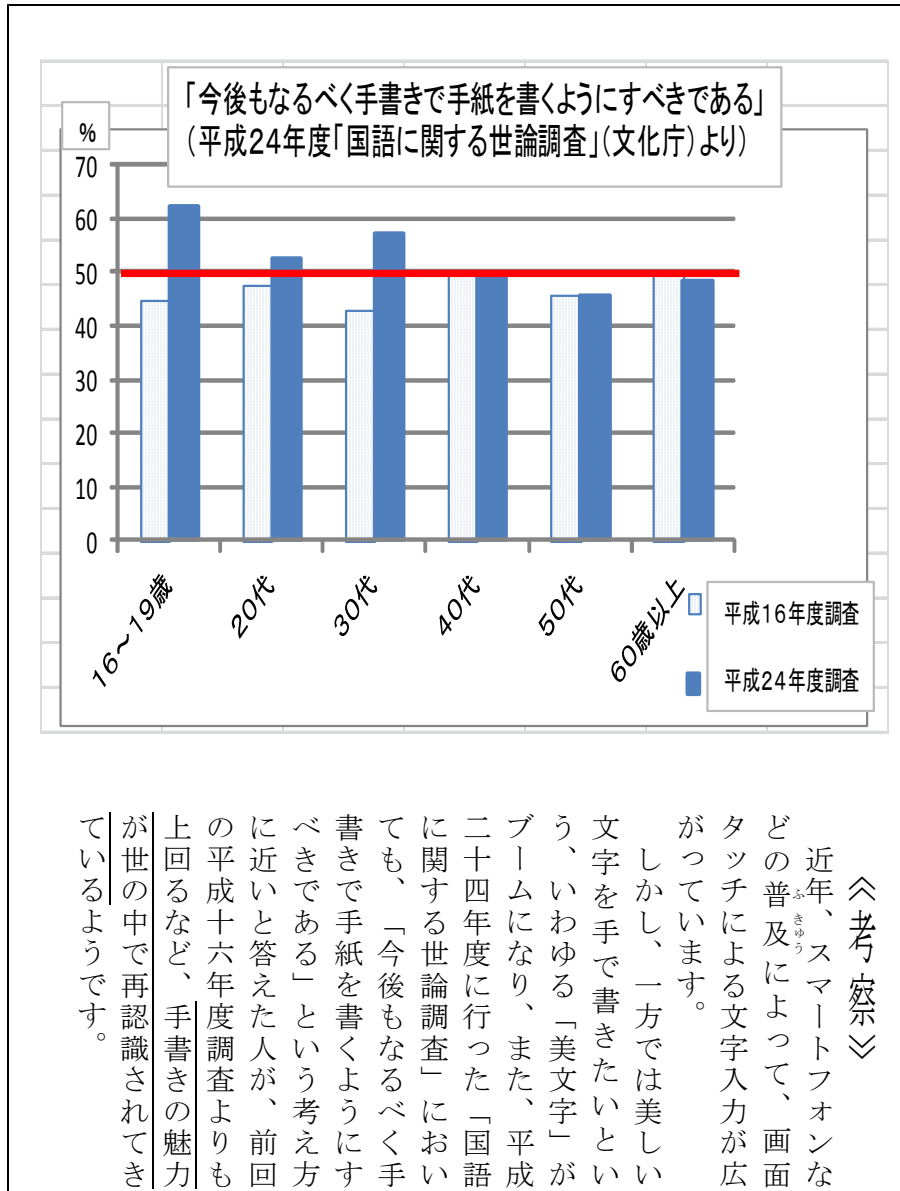
資料 1

(1) — 線部①「必ず手書きの手紙を添えています」とありますが、湊さんが手書きの手紙を添える理由を書きなさい。

(2) — 線部②「文字で遊ぶ」とはこの文章中ではどうすることを言っていますか。本文中の言葉を使って答えなさい。

資料 2

(3) 次の資料2の《考察》中の——線部「手書きの魅力が世の中で再認識されてきている」とありますが、このことは、資料2のグラフのどのようなことを根拠としていると言えますか。下の「条件」に従って書きなさい。



〔条件〕

- ① どの年代(世代)のデータが根拠となっているかがわかるように書くこと。
- ② 平成十六年度と平成二十四年度を比較し、変化の様子を具体的に書くこと。

資料 3



佐藤さん

○地域のお年寄りの方に年賀状を送ろうと思っているんだけど、年賀状は手書きではなく、パソコンで作った方がいいのかな？



Aさん

パソコンで作れば、年賀状を作るソフトを使って、いろんな年賀状のデザインの中から選べるし、文字も活字で読みやすいから、パソコンの方がいいと思うよ。



Bさん

写真や干支^{えと}のイラストを簡単にはり付けられるし、色鉛筆を準備しなくても色をつけることができるから、パソコンで作る方がいいと思うよ。



Cさん

私もパソコンの方がいいと思うよ。多くのお年寄りの方に年賀状を出すなら、パソコンの方が時間がかからないし、印刷も早くできるからね。

○ 佐藤さんは、通っている中学校の生徒に、「地域のお年寄りの方に年賀状を送ろう」ということを呼びかける文章を書くことにしました。作り方を考えていく中で、手書きにするか、パソコンにするかで意見が分かれました。他のボランティア委員から「年賀状はパソコンで作る人が多いのではないか」という意見をもらった佐藤さんは、年賀状をパソコンで作っている友人にたずねてみました。

○ 佐藤さんは、「地域のお年寄りの方に年賀状を送ろう」ということを呼びかける文章を、次のように書くようとしています。あなたも佐藤さんの立場になって、呼びかける文章を書いてみましょう。下の条件に従って左の【A】に入る文章を書きなさい。

熊本中学校の皆さんへ、ボランティア委員会からのお願いです。

もう少しでお正月です。昨年は、総合的な学習の時間などでお世話になった地域のお年寄りの方に、感謝の言葉を書いたプランターに入れた花のプレゼントをしました。今年は、範囲を広げて校区内に住んでいらっしゃるお年寄りの皆さんに年賀状を送りたいと思います。

ボランティア委員会ではがきを準備し、十二月十二日にはがきを配布しますので、一人一枚ずつ書いてください。
年賀状を書く際に皆さんにお願いがあります。

【A】

この取り組みの目的は、「感謝の気持ちを伝えること」です。地域のお年寄りの方への年賀状作りに協力してください。

「条件」

① 二段落構成とし、一段落目に「年賀状は手書きで書く」か「年賀状はパソコンで作る」のどちらの立場をとるかを書くこと。

二段落目には、みんなに納得してもらうために、**資料1～3**の中から必要な情報を取り入れて理由を書くこと。

② 【A】の前と後のつながりを考えて書くこと。

③ 百字以上百四十字以内で書くこと。